

**平成 28 年度飛騨地域移住・定住促進連携事業業務委託
業務結果報告 概要版**

業務名	(1)官民協業による移住戦略組織の設置
内容	飛騨地域内の官民それぞれが持つ知識やノウハウを活かした移住戦略組織の設置に向け、組織体制や事業内容等を明確化し、移住者を引きつける魅力ある地域とされるために、飛騨地域移住相談窓口としての受入体制の整備に向け、昨日と組織の設計を実施した。
成果、所感等	<p>全国でも稀な、県階層と基礎自治体階層の中間階層としての4市村による協議会として移住政策を効率的に推進する為、協議会階層と基礎自治体階層との役割分担などについて、議論を通じて初期設計を実施した。</p> <p>次年度以降はさらに、今年度打診をした民間側のサポーター候補や関連諸団体との議論を進め、正式な形態での移住戦略組織の設置・運営に進んでいきたい。</p>

業務名	(2)首都圏での移住促進イベント															
内容	<p>Hida-Drinks in Tokyo</p> <p>開催場所: 飛騨居酒屋・蔵助</p> <p>住所: 東京都千代田区神田駿河台 3-5-15 荒井ビル 2 階</p> <p>開催時間: 18:00-20:30</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>参加人数 (協議会除く)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>2016/10/2</td> <td>36 名</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>2016/12/11</td> <td>35 名</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>2017/2/12</td> <td>22 名</td> </tr> <tr> <td>第四回</td> <td>2017/3/20</td> <td>33 名</td> </tr> </tbody> </table>		開催日時	参加人数 (協議会除く)	第一回	2016/10/2	36 名	第二回	2016/12/11	35 名	第三回	2017/2/12	22 名	第四回	2017/3/20	33 名
	開催日時	参加人数 (協議会除く)														
第一回	2016/10/2	36 名														
第二回	2016/12/11	35 名														
第三回	2017/2/12	22 名														
第四回	2017/3/20	33 名														
成果、所感	<p>「飛騨をテーマにした飲み会というコンセプトが面白い」として、毎回定員に近い人数を集めた。各回、潜在移住者のみならず、飛騨出身都市部在住者、飛騨に興味はあるが行ったことがない…などの飛騨初心者、都市部との繋がりを求める飛騨在住者まで、幅広い層を集めるイベントとして、回を追うごとに年齢層や飛騨への親密度も幅広いものとなった。移住までは考えられないが、飛騨を応援したい、という「飛騨アンバサダー」を希望する人たちも出席者の半数にのぼった。</p> <p>直接的に移住にはつながらないものの、東京から飛騨を応援してくれる人たちを受け入れるイベントとして、継続しやすくかつ「潜在移住者」の間口を広げるための役割を果たしている。</p> <p>今後は、参加者同士がどんな人たちなのか、を事前に共有することで参加者同士のコミュニケーション効率を上げる、アンバサダーを活用する、学生など若い世代を取り込む、他地域とコラボレーションする、などでマンネリ化を予防し、飛騨ファンのすそ野も広げて息の長い活動としていきたい。</p> <p>また、人財確保やマーケティング視点で本事業を肯定的に捉えている民間企業もあり、次年度に企画立案し、公的資金の注入なしで運営できる方法を模索したい</p>															

業務名	(3)移住者受入研修									
内容	①関係団体向け									
	<p>Hida-Drinks in Hida 内でのクイズ形式ワークショップ及び意見聴取</p> <p>地域内で移住者受け入れに前向きな人たちと、移住者を集めた Hida-Drinks in Hida 内のクイズ形式ワークショップにて、飛騨地域の移住に関する問題についての啓発を行い、事後アンケートにて意見聴取を行った。</p> <table border="1" data-bbox="443 387 1347 535"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>参加人数(協議会除く)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>2017/1/21</td> <td>56 名(うち移住者 33 名)</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>2017/3/12</td> <td>29 名(うち移住者 17 名)</td> </tr> </tbody> </table>		開催日時	参加人数(協議会除く)	第一回	2017/1/21	56 名(うち移住者 33 名)	第二回	2017/3/12	29 名(うち移住者 17 名)
		開催日時	参加人数(協議会除く)							
第一回	2017/1/21	56 名(うち移住者 33 名)								
第二回	2017/3/12	29 名(うち移住者 17 名)								
成果、所感等	<p>アンケートから、移住者にとって飛騨の生活は肯定的に捉えられていることがわかった。移住者のサポートを行う「移住者サポーター」には、出席者の半数以上が登録に肯定的な反応を見せた。これまで行政主体で行われていた移住者サポートを「民」の場に広げていくうえで、前向きな結果であるといえる。</p> <p>一方で子育て世代や若者世代など、より細かいライフステージに合わせた交流の場が求められていることもアンケートから判明した。今後は、様々な移住者のタイプに合わせた交流の場やサポートの場を提供する必要があると考える。</p>									
内容	②事業者向け									
	<p>雇用促進セミナー</p> <p>第一回</p> <p>○開催テーマ 「地方創生時代における人財確保のポイント」</p> <p>○講演者 ウオンテッドリー(株) 武藤 瑛未氏 (株)美ら地球 山田 拓</p> <p>○開催日時: 平成 28 年 10 月 19 日(水) 13:30~16:00</p> <p>○参加企業数 36 社(参加人数 38 名) (飛騨地域創生連携協議会、各商工会は除く)</p> <p>○会場 十六銀行高山支店 2 階セミナールーム(住所:高山市下三之町 136 番地)</p> <p>第二回</p> <p>○開催日時: 平成 29 年 2 月 1 日(水) 13:30~16:00</p> <p>○開催テーマ 「地方創生時代における地域外からの人財確保と定着化のポイント」</p> <p>○講演者 (株)ビズリーチ 佐藤 和男氏 (株)美ら地球 山田 拓</p> <p>○参加企業数 24 社(参加人数 29 名) (飛騨地域創生連携協議会、各商工会、市役所は除く)</p>									

	<p>うち 5 社が第一回に引き続き参加</p> <p>○会場</p> <p>飛驒信用組合本店セミナールーム</p> <p>※協力・後援は各地金融協会、商工会等</p>
成果、所感等	<p>セミナー参加の理由として、新しい採用方法が知りたかった、という理由がトップであったが、「人がとにかく足りないから」という理由も半数前後にのぼった。地域内の人材不足の問題が改めて浮き彫りになるとともに、新しい採用方法に対しても貪欲であり、機会があれば試してみたいと考えている企業が多いことが、Wantedly の登録希望の多さからもうかがえる。</p> <p>出口や受け皿のない従来の一般的な移住相談から、比較的ハードルが低いと考えられる一般企業への就職を出口とした確度の高い移住政策推進に向けた一歩が踏み出せたと言える。今後は、既存の商工団体等との連携を深め、より多くの雇用の受け皿情報の収集や移住者に向けた公開を促進すべきであると考えられる。</p>

業務名	(4)移住者向け雇用情報の発信
内容	<p>SNS を利用した採用メディア Wantedly 内に「飛驒特集ページ」を開設</p> <p>(3)の第一回雇用促進セミナーにて、Wantedly への登録希望した 19 社の中で、10 社が実際に Wantedly のページを作成し、雇用情報の発信を行ったことで、Wantedly 内に「飛驒特集ページ」が開設された。</p>
成果、所感等	<p>Wantedly の中でも、地域の特集ページの開設は初となる。未だ地域内の企業の採用方法は、ハローワークや地域内の口コミがほとんどである中で、インターネットを活用した新しい採用方法でこれまでの「給与等の条件」以外の軸で戦えること、地域内のみならず地域外から人を採ってくる、という発想が紹介されたことは地域内事業者にも意義深いことだったといえる。</p> <p>飛驒地域で Wantedly に登録していたのは数社に留まっていたが、今回まとめて「飛驒地域」として特集してもらうことで、プレゼンスが上昇し、応募が増えた例もあった。</p> <p>今後は、(3)のセミナーとの連動を強化し、近年の就職ニーズに合わせた形態での情報発信を強化すべきであると考ええる。</p>

業務名	(5)移住体験ツアー			
内容		開催日時	開催場所	参加人数
	第一回	2016/12/3～ 2016/12/4 (1泊2日)	高山市 丹生川地区 下呂市 馬瀬地区	高山市5名 下呂市6名
	第一回は、観光旅行では味わえない、飛驒地域の人の暮らしを「地元の人が日常で回る場所」視点で回ってもらったり、飛驒での実際の暮らしを身近に感じたり、地域の人と交流することに重点を置いたツアー			
第二回	2017/3/3～ 2017/3/5	(インターン先) 飛驒市	飛驒市6名 白川村2名	

	(2泊3日)	(有)田中牧場 (株)美ら地球 白川村 道の駅白川郷	
	第二回は、仕事に重点を置いたツアー。「大人のインターンシップ」と題して、地域内の実際の企業での職場体験を提供するとともに、受け入れ側の企業にとっても、課題解決のヒントを参加者からもらうことを意図した。		
成果、所感等	<p>第一回、第二回ともに少人数ながら、「自分たちが旅行で回るだけでは絶対にできない体験ができた」と好評を得た。第一回目は、参加者のなかでそれまで「なんとなく二地域居住を考えている(場所は特に決めていない)」という人が、ツアー参加後は「二地域居住や移住を具体的に考えたい」と、移住に向けステップアップを目指すようになった。</p> <p>第二回目は参加者の仕事の経験を活かした提案が、受け入れ側の企業にとっても、自分たちだけでは得られない発想で、自社の課題解決に向けての提案をもらった、と好評を得た。参加者のみならず受け入れ側にとっても益のある、移住ツアーの新しい形が提示できたといえる。</p> <p>一方で、移住体験ツアーは全国各地で実施され、デフレ化と競争激化による価格破壊が生じている為、毎回集客に相当の労力を割かれるも、想定する集客を実現できなかった。今後は、一定数をツアー形式で募集して実施する形態から、受益者負担の原則により、興味を持つ移住検討者が自発的にくる場合に戦略組織で対応する、雇用を検討する企業負担で招聘する等、移動コストを公的資金で賄う方法からの脱却も視野に入れるべきであると考えられる。</p>		

業務名	(6)移住前支援研修																		
内容	<p>「グッとくる飛騨ゼミ」第一クール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場所 株式会社ビズリーチ オフィス会議室(東京都渋谷区渋谷2-15-1) ○ 時間 19:00-20:30 ○ 内容 いずれも前半の講義のあと、参加者がグループに分かれてディスカッションするワークショップ形式。講師は山田拓(美ら地球) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>2016/11/7</td> <td>自分が求めるライフスタイル</td> <td>31名</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>2016/11/14</td> <td>意外とある、飛騨地域でのシゴト</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>2016/11/30</td> <td>地域に溶け込む暮らし方</td> <td>15名</td> </tr> </tbody> </table> <p>「グッとくる飛騨ゼミ」第二クール</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 場所 株式会社ビズリーチ オフィス会議室(東京都渋谷区渋谷2-15-1) 				開催日	テーマ	参加人数	第一回	2016/11/7	自分が求めるライフスタイル	31名	第二回	2016/11/14	意外とある、飛騨地域でのシゴト	27名	第三回	2016/11/30	地域に溶け込む暮らし方	15名
	開催日	テーマ	参加人数																
第一回	2016/11/7	自分が求めるライフスタイル	31名																
第二回	2016/11/14	意外とある、飛騨地域でのシゴト	27名																
第三回	2016/11/30	地域に溶け込む暮らし方	15名																

	<p>○ 時間 19:00-21:30</p> <p>○ 内容 仕事に重点を置いたワークショップ形式のセミナー。「企業の右腕採用」というコンセプトで、前半は飛騨地域の実際の企業の経営者や採用担当者が登壇し、実際の仕事内容と募集職種、各企業の課題が提示された。後半は参加者がグループに分かれ課題に対する解決策を議論する形式。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日程</th> <th>登壇企業①</th> <th>登壇企業②</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>2月17日(金)</td> <td>ミチナル(株)</td> <td>(株)美ら地球</td> <td>13名</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>2月22日(水)</td> <td>道の駅白川郷</td> <td>(株)洞口不動産</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>第三回</td> <td>3月1日(水)</td> <td>(有)田中牧場</td> <td>山一商事(株)</td> <td>18名</td> </tr> </tbody> </table>		日程	登壇企業①	登壇企業②	参加人数	第一回	2月17日(金)	ミチナル(株)	(株)美ら地球	13名	第二回	2月22日(水)	道の駅白川郷	(株)洞口不動産	19名	第三回	3月1日(水)	(有)田中牧場	山一商事(株)	18名
	日程	登壇企業①	登壇企業②	参加人数																	
第一回	2月17日(金)	ミチナル(株)	(株)美ら地球	13名																	
第二回	2月22日(水)	道の駅白川郷	(株)洞口不動産	19名																	
第三回	3月1日(水)	(有)田中牧場	山一商事(株)	18名																	
成果、所感等	<p>募集のアナウンス期間 1~2 週間と短い期間ながら、毎回参加するリピーターを獲得し、人気の高いセミナーとなった。第一クールでは、セミナーにすべて参加した参加者が最終的に高山市への移住を決めたり、セミナー参加者の中から、その後移住相談があったりと、移住を考える人の後押しとしての機能を果たすことができた。</p> <p>第二クールでは、アンケートにて登壇企業に「実際に応募したいと思った」という答えがかなりあり(「応募したくない」は無いか少ない)セミナーのあと実際に企業に応募したいという参加者も現れるなど、転職をきっかけとした地方移住の可能性を感じられる結果となった。</p> <p>他の項目と重複するが、人財確保を目指すかつ雇用を生み出す企画・マネジメント系の職種の募集を都市部で実施することの妥当性を感じられる結果となり、今後はこの確度をあげた運営に遷移していきたい。</p>																				

業務名	(7)移住後ネットワークの構築												
内容	<p>Hida-Drinks in Hida 開催時間はいずれも 12:00~14:00 三市一村からそれぞれ移住者及び移住者受け入れに前向きな地域の方を集め、交流を目的としたイベントを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日時</th> <th>開催場所</th> <th>参加人数(協議会除く)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回</td> <td>2017/1/21</td> <td>匠館アルティジャーノ (岐阜県高山市下三之町 1-22 3F)</td> <td>56名(うち移住者 33名)</td> </tr> <tr> <td>第二回</td> <td>2017/3/12</td> <td>ひだホテルプラザ (高山市花岡町 2 丁目 60 番地)</td> <td>29名(うち移住者 17名)</td> </tr> </tbody> </table> <p>途中で「飛騨地域クイズ」として、各市村からの出題、飛騨弁問題、飛騨地域の人口問題にまつわる出題を行い、飛騨地域ながらお互いに知らないことや、飛騨地域の抱える課題についての問題意識を喚起した。</p>		開催日時	開催場所	参加人数(協議会除く)	第一回	2017/1/21	匠館アルティジャーノ (岐阜県高山市下三之町 1-22 3F)	56名(うち移住者 33名)	第二回	2017/3/12	ひだホテルプラザ (高山市花岡町 2 丁目 60 番地)	29名(うち移住者 17名)
	開催日時	開催場所	参加人数(協議会除く)										
第一回	2017/1/21	匠館アルティジャーノ (岐阜県高山市下三之町 1-22 3F)	56名(うち移住者 33名)										
第二回	2017/3/12	ひだホテルプラザ (高山市花岡町 2 丁目 60 番地)	29名(うち移住者 17名)										
成果、所感等	<p>イベント後のアンケートでは、「飛騨地域」「移住者」というキーワードで多くの人が集まったことに驚きが見られるとともに、人とのつながりが改めて感じられたこと、また、人とのつながりを通して改めて飛騨地域が好きになったこと、などの意見が聞かれた。また、参加者の半</p>												

	<p>数近くが、移住者の相談に乗る「移住サポーター」になることに肯定的な姿勢を示した。実際に移住者の集まるイベントに参加し、楽しくポジティブな雰囲気身を置いてもらうことにより、自分も移住者に対して力になりたいという前向きな姿勢が引き出せたものとする。</p> <p>今回は移住者をキーワードに人を集めた会だったが、互いに少し話す程度で時間切れしてしまい、その時は良くても時間を置くと熱も冷めてしまう傾向がある。今後は、地元の人が主催する「ドリコミュ」のような会とコラボレーションし、参加のハードルはより低く、かつ継続的に、お互いをよりよく知り合える機会を作っていきたい。</p> <p>また、東京でのイベントに参加されたI/Uターンを検討中の方が自費で飛驒を訪れこの会にも参加されたことは、事業全体の総合的なアプローチの成果として捉えられ、この流れの促進を考慮し、推進すべきであると考えられる。</p>
--	---

業務名	(8)飛驒地域総合移住ホームページ「グッとくる飛驒」の運用保守										
内容	<p>グッとくる飛驒</p> <p>○web サイト更新項目概要</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">10月</td> <td>Top ページリニューアル フレーム再構築 編集ワークショップ特集ページ開設 イベントページ更新</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>イベントページ更新 飛驒移住あるある更新</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>ニュースページ更新 イベントページ更新 飛驒移住あるある更新</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>コロカル連動特集ページ開設 vol.7 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>コロカル連動特集 vol.8,9 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新</td> </tr> </table> <p>セッション数、ページビュー数、平均ページ滞在時間、離脱率についてはコロカルと提携したことにより大幅に改善した。特に連動記事の特集ページを制作したことにより、記事公開後にグッとくる飛驒に流入し、そこから各自治体の移住サイトに向かう流れが生まれてきている(別途資料6参照)。</p> <p>コロカル</p> <p>-----</p> <p>○Vol.1 10月3日公開 飛驒好きが増えてるって本当？ そもそもどこ？ そこに旅する人、暮らす人、通う人に聞く「なぜヒダ？」</p>	10月	Top ページリニューアル フレーム再構築 編集ワークショップ特集ページ開設 イベントページ更新	11月	イベントページ更新 飛驒移住あるある更新	12月	ニュースページ更新 イベントページ更新 飛驒移住あるある更新	1月	コロカル連動特集ページ開設 vol.7 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新	2月	コロカル連動特集 vol.8,9 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新
10月	Top ページリニューアル フレーム再構築 編集ワークショップ特集ページ開設 イベントページ更新										
11月	イベントページ更新 飛驒移住あるある更新										
12月	ニュースページ更新 イベントページ更新 飛驒移住あるある更新										
1月	コロカル連動特集ページ開設 vol.7 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新										
2月	コロカル連動特集 vol.8,9 公開 イベントページ更新 ニュースページ更新										

対象地域: 飛騨地域全域(高山市、飛騨市、下呂市、白川村)

PV:3342

○Vol.2 10月17日公開

飛騨の4つの市村で聞いた「ナゼヒダ？」地元の人、移住者、観光客が飛騨を好きなわけ。

対象地域: 飛騨地域全域(高山市、飛騨市、下呂市、白川村)

PV:2385

○Vol.3 11月7日公開

あの映画の聖地から 漬物ステーキまで！ 飛騨市の注目スポット

対象地域: 飛騨市

PV:2,243

○Vol.4 11月21日公開

飛騨地方の珍しい郷土食って？ 外国人観光客をも惹きつける 高山市の注目スポットと食文化

対象地域: 高山市

PV:3,517

○Vol.5 12月6日公開

世界遺産の村で楽しむアウトドアや名物料理。白川村の暮らしと注目スポット

対象地域: 白川村

PV:2,167

○Vol.6 12月20日公開

郷土食からソウルフードまで。下呂市のグルメスポット

対象地域: 下呂市

PV:2,380

○Vol.7 1月24日公開

タイトル: 飛騨の移住者たちに聞く「教育・子育て」ローカル特有のつながりで育む、子どもたちの未来

対象地域: 高山市(弓削一平さん・知嘉子さん)、白川村(木村美由紀さん)

PV:11,238 ※2/13 計測

○Vol.8 2月7日公開

タイトル: 飛騨の移住者たちに聞く「働き方」地域のためになる仕事、地域だからできる働き方

対象地域: 高山市(古里圭史さん)、下呂市(熊崎潤さん)

PV:5,054 ※2/13 計測

	<p>-----</p> <p>○Vol.9 2月21日公開</p> <p>タイトル:飛驒に移住した人たちに聞く「起業」「ルールもマナーもわからない」。思いきった方向転換を果たした2人の起業の心得</p> <p>対象地域:飛驒市(千原誠さん)、白川村(柴原孝治さん)</p> <p>-----</p> <p>※3月中下旬に vol.10-12 を順次公開予定</p>
<p>成果、所感等</p>	<p>コロカルとのタイアップを行ったことにより、サイトへの流入数は緩やかに増加した。特に、コロカルの記事とグッとくる飛驒の記事を連動させた特集については、新しい取り組みであったにもかかわらず、多くの読者がグッとくる飛驒の記事を読むきっかけとなったと言える。</p> <p>今後は、自社サイトコンテンツの充実を図ることはもちろん、協業メディアとの連動記事でシームレスなページ遷移を促し、読者への多面的な移住情報の見せ方を検討することが望ましい。</p> <p>また、今年度は他の事業項目の実施に時間を割かれがちで、当該各事業の様子などをFacebook ページ等で発信仕切れなかった部分も否めないが、次年度以降は、事業全体の様子をよりタイムリーに更新し、事業そのものの可視性を担保し、全国的な競争に打ち勝つ流れを作るべきである。</p>

<p>業務名</p>	<p>(9)会議運営支援</p>											
<p>内容</p>	<p>全体会議</p> <table border="1" data-bbox="395 1198 1347 2067"> <thead> <tr> <th data-bbox="395 1198 544 1249"></th> <th data-bbox="544 1198 932 1249">開催日時</th> <th data-bbox="932 1198 1347 1249">開催場所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="395 1249 544 1684"> <p>第一回</p> </td> <td data-bbox="544 1249 932 1684"> <p>2016/7/14 9:30~11:30</p> </td> <td data-bbox="932 1249 1347 1684"> <p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 3名:経営管理部 地域振興課 都竹課長、尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 美ら地球 3名:山田、白石、岡野 <p>(欠席:白川村役場)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="395 1684 544 2067"> <p>第二回</p> </td> <td data-bbox="544 1684 932 2067"> <p>2016/9/30 10:00~11:30</p> </td> <td data-bbox="932 1684 1347 2067"> <p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 白川村役場 2名:観光振興課 岩本課長、高島氏 </td> </tr> </tbody> </table>				開催日時	開催場所	<p>第一回</p>	<p>2016/7/14 9:30~11:30</p>	<p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 3名:経営管理部 地域振興課 都竹課長、尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 美ら地球 3名:山田、白石、岡野 <p>(欠席:白川村役場)</p>	<p>第二回</p>	<p>2016/9/30 10:00~11:30</p>	<p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 白川村役場 2名:観光振興課 岩本課長、高島氏
	開催日時	開催場所										
<p>第一回</p>	<p>2016/7/14 9:30~11:30</p>	<p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:11名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 3名:経営管理部 地域振興課 都竹課長、尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 美ら地球 3名:山田、白石、岡野 <p>(欠席:白川村役場)</p>										
<p>第二回</p>	<p>2016/9/30 10:00~11:30</p>	<p>高山市役所2階 203 会議室</p> <p>参加者:12名</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➢ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 尾里氏、森本氏 ➢ 飛驒市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➢ 白川村役場 2名:観光振興課 岩本課長、高島氏 										

	➤ 美ら地球 3名:山田拓、白石、岡野	
第三回	2016/12/22 13:30~15:00	高山市役所 001 会議室
	参加者:11名 ➤ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➤ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 都竹課長、森本氏 ➤ 飛騨市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➤ 白川村役場1名:観光振興課 岩本課長 美ら地球 3名:山田拓、白石、岡野	
第四回	2017/3/14 13:30~15:00	高山市役所 地下 002 会議室
	参加者:11名 ➤ 高山市役所 3名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 下屋課長、藤垣氏、奥原氏 ➤ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 都竹課長、森本氏 ➤ 飛騨市役所 2名:企画課 谷尻課長、井畑氏 ➤ 白川村役場1名:観光振興課 岩本課長 美ら地球 3名:山田拓、白石、岡野	

担当者会議

	開催日時	開催場所
第一回	2016/8/31 9:30~11:30	高山市役所2階 203 会議室
	参加者:10名 ➤ 高山市役所 2名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 藤垣氏、奥原氏 ➤ 下呂市市役所 2名:経営管理部 地域振興課 尾里氏、森本氏 ➤ 飛騨市役所 2名:企画課 井畑氏 ➤ 白川村役場 2名: 観光振興課:高島氏、石井氏 ➤ 美ら地球 2名:山田、岡野	
第二回	2017/1/11 10:00~11:30	高山市役所2階 203 会議室
	参加者:9名 ➤ 高山市役所 2名:ブランド・海外戦略部 ブランド戦略課 藤垣氏 ➤ 飛騨市役所 1名:企画課 井畑氏 ➤ 下呂市役所 2名:経営管理部 地域振興課 尾里氏、森本氏 ➤ 白川村役場 2名:観光振興課 高島氏、石井氏 ➤ 美ら地球 2名:山田拓、岡野	

業務名	(10)業務全般に関し、有益で実現可能な提案に係る業務報告								
内容	<p data-bbox="352 152 919 185"><u>未来の地域編集部(準備室)編集ワークショップ</u></p> <p data-bbox="384 248 475 282">○日程</p> <p data-bbox="384 344 686 378">-----</p> <p data-bbox="384 344 686 378">第1回 10月30日(日)</p> <p data-bbox="384 394 686 427">第2回 11月27日(日)</p> <p data-bbox="384 443 679 477">第3回 1月15日(日)</p> <p data-bbox="384 492 679 526">第4回 2月19日(日)</p> <p data-bbox="384 542 810 575">-----</p> <p data-bbox="384 586 1225 620">○場所 co-ba HIDA TAKAYAMA 住所:岐阜県高山市本町3丁目7</p> <p data-bbox="384 636 659 669">○時間 13:00 - 17:00</p> <p data-bbox="384 685 552 719">○料金 無料</p> <p data-bbox="384 734 1426 813">○申込人数 25名(高山市:12名、飛騨市:6名、下呂市:2名、白川村:2名、東京:1名滋賀:1名、広島:1名)</p> <p data-bbox="376 875 1426 954">○参加者属性:印刷会社勤務、建築設計士、英会話講師、デザイナー、地域おこし協力隊、ゲストハウス経営、個人商店経営など</p> <table border="1" data-bbox="397 1008 1347 2063"> <tr> <td data-bbox="397 1008 544 1296">第一回</td> <td data-bbox="544 1008 1347 1296"> <p data-bbox="555 1016 861 1050">2016/10/30 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1066 1297 1099">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1115 994 1149">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1164 748 1198">参加人数:24名</p> <p data-bbox="555 1214 952 1247">講演:地域ブランドとは、編集とは</p> <p data-bbox="555 1263 999 1296">ワークショップ:ブランド価値の言語化</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="397 1296 544 1637">第二回</td> <td data-bbox="544 1296 1347 1637"> <p data-bbox="555 1305 861 1339">2016/11/27 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1355 1297 1388">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1404 994 1438">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1453 748 1487">参加人数:22名</p> <p data-bbox="555 1503 876 1536">講演:「編集の視点と技法」</p> <p data-bbox="555 1552 1005 1585">ワークショップ:連載・特集の企画会議</p> <p data-bbox="555 1601 938 1635">ワークショップ:インタビュー実践</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="397 1637 544 2022">第三回</td> <td data-bbox="544 1637 1347 2022"> <p data-bbox="555 1646 847 1680">2016/1/15 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1695 1334 1774">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏、絹川憲人氏、ただ氏)</p> <p data-bbox="555 1789 994 1823">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1839 1185 1872">参加人数:16名(web ストリーミング中継参加者3名)</p> <p data-bbox="555 1888 916 1921">ワークショップ:カメラ撮影講座</p> <p data-bbox="555 1937 935 1971">講義:ワークショップの運営方法</p> <p data-bbox="555 1986 884 2020">ワークショップ:タイトル付け</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="397 2022 544 2063">第四回</td> <td data-bbox="544 2022 1347 2063"> <p data-bbox="555 2031 847 2065">2016/2/19 13:00~17:00</p> </td> </tr> </table>	第一回	<p data-bbox="555 1016 861 1050">2016/10/30 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1066 1297 1099">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1115 994 1149">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1164 748 1198">参加人数:24名</p> <p data-bbox="555 1214 952 1247">講演:地域ブランドとは、編集とは</p> <p data-bbox="555 1263 999 1296">ワークショップ:ブランド価値の言語化</p>	第二回	<p data-bbox="555 1305 861 1339">2016/11/27 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1355 1297 1388">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1404 994 1438">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1453 748 1487">参加人数:22名</p> <p data-bbox="555 1503 876 1536">講演:「編集の視点と技法」</p> <p data-bbox="555 1552 1005 1585">ワークショップ:連載・特集の企画会議</p> <p data-bbox="555 1601 938 1635">ワークショップ:インタビュー実践</p>	第三回	<p data-bbox="555 1646 847 1680">2016/1/15 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1695 1334 1774">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏、絹川憲人氏、ただ氏)</p> <p data-bbox="555 1789 994 1823">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1839 1185 1872">参加人数:16名(web ストリーミング中継参加者3名)</p> <p data-bbox="555 1888 916 1921">ワークショップ:カメラ撮影講座</p> <p data-bbox="555 1937 935 1971">講義:ワークショップの運営方法</p> <p data-bbox="555 1986 884 2020">ワークショップ:タイトル付け</p>	第四回	<p data-bbox="555 2031 847 2065">2016/2/19 13:00~17:00</p>
第一回	<p data-bbox="555 1016 861 1050">2016/10/30 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1066 1297 1099">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1115 994 1149">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1164 748 1198">参加人数:24名</p> <p data-bbox="555 1214 952 1247">講演:地域ブランドとは、編集とは</p> <p data-bbox="555 1263 999 1296">ワークショップ:ブランド価値の言語化</p>								
第二回	<p data-bbox="555 1305 861 1339">2016/11/27 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1355 1297 1388">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏)</p> <p data-bbox="555 1404 994 1438">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1453 748 1487">参加人数:22名</p> <p data-bbox="555 1503 876 1536">講演:「編集の視点と技法」</p> <p data-bbox="555 1552 1005 1585">ワークショップ:連載・特集の企画会議</p> <p data-bbox="555 1601 938 1635">ワークショップ:インタビュー実践</p>								
第三回	<p data-bbox="555 1646 847 1680">2016/1/15 13:00~17:00</p> <p data-bbox="555 1695 1334 1774">運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏、絹川憲人氏、ただ氏)</p> <p data-bbox="555 1789 994 1823">進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p data-bbox="555 1839 1185 1872">参加人数:16名(web ストリーミング中継参加者3名)</p> <p data-bbox="555 1888 916 1921">ワークショップ:カメラ撮影講座</p> <p data-bbox="555 1937 935 1971">講義:ワークショップの運営方法</p> <p data-bbox="555 1986 884 2020">ワークショップ:タイトル付け</p>								
第四回	<p data-bbox="555 2031 847 2065">2016/2/19 13:00~17:00</p>								

	<p>運営:コロカル編集部(及川卓也氏、林真由美氏、大草朋宏氏、絹川憲人氏)</p> <p>進行:株式会社 美ら地球 白石達史</p> <p>参加人数:14 名</p> <p>講評:連載・特集企画プレゼンテーション</p> <p>講評:記事原稿共有とディスカッション</p>	
<p>成果、 所感等</p>	<p>全 4 回を通して、地域メディアの根幹を成すライター養成を行うことができた。当初からの考えである、地域プロモーションをできる人材の育成という目的はおよそ果たせたと言える。ただし、現在は地域メディアを存続させられる大きな一歩を踏み出せたばかりなので、来年度以降は参加者の中から編集部に参加するコアメンバーを 5-10 名選出し、「未来の編集部」の立ち上げを行っていく必要がある。今後は、大手メディアにはできない、未来の地域編集部ならではのブランドをつくり、飛騨地域の中で移住に関する情報を集約していくことが今後のミッションとなる。</p>	

以上